

# 地域に適した地熱開発の効果的な推進のための地熱資源調査

利用形態・規模に応じた開発可能性について、調査研究を展開しています。

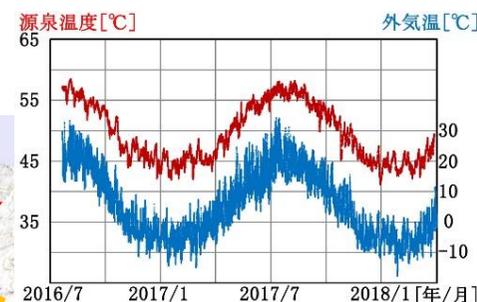
## 背景

- 国や北海道は東日本大震災を契機に、化石燃料に頼らない再生可能エネルギーの導入・拡大を推進
- ⇒ 各地域に賦存する地熱資源量と開発計画の利用形態・規模をマッチングさせ、より効果的な推進をはかる
- ⇒ **より精度の高い地熱資源量・地熱構造モデル構築を目指した調査研究が必要**

## 成果

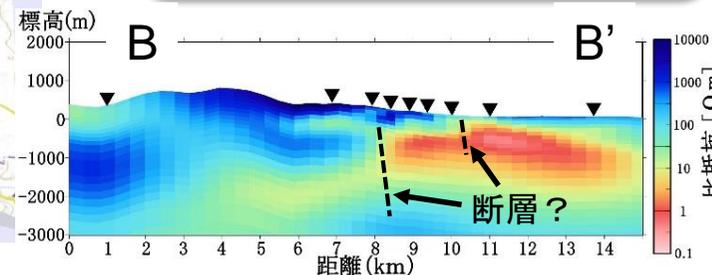
後志地方において、様々な利用形態に応じた調査研究を展開

○発電利用  
⇒ニセコ地域における地熱構造モデル構築と地熱資源量評価  
(重点研究：黄枠)

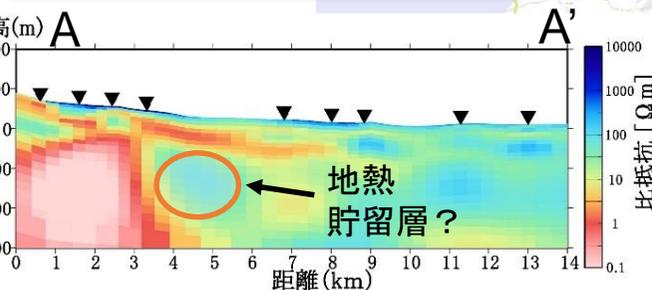


近隣の源泉で  
泉温連続観測  
を実施～開発  
後との比較が  
可能となる

○小規模・熱利用  
⇒岩内町や周辺地域において  
電磁探査を実施し開発可能性  
を検討(受託研究：青枠)



電磁探査の結果、地熱貯留層の  
存在を示唆する構造を検出



## 期待される効果

- 調査研究結果をもとに、地質研究所が専門家として地域の合意形成や地域と企業とのマッチングを支援
- ⇒発電利用、熱利用、浴用利用など、求める利用形態に応じた開発がなされ、地域活性化に貢献